

Mizuho Daily Market Report

2024/7/30

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	153.66	154.02	+0.26	▲3.02
EUR	1.0845	1.0821	▲0.0035	▲0.0070
AUD	0.6543	0.6549	+0.0001	▲0.0094
SGD	1.3431	1.3434	+0.0008	▲0.0026
CNY	7.2570	7.2603	+0.0098	▲0.0135
MYR	4.6372	4.6363	▲0.0215	▲0.0457
THB	35.94	36.06	+0.00	▲0.22
IDR	16286	16280	▲10	+60
PHP	58.51	58.52	+0.16	+0.13
INR	83.73	83.74	+0.01	+0.07
VND	25282	25290	▲31	▲46

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.174%	▲1.9 bp	▲7.8 bp
日本(10年)	1.027%	▲4.0 bp	▲2.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.359%	▲4.8 bp	▲13.6 bp
オーストラリア(5年)	3.980%	▲1.3 bp	▲4.1 bp
シンガポール(5年)	2.910%	▲4.3 bp	▲14.5 bp
中国(5年)	1.891%	▲0.6 bp	▲2.8 bp
マレーシア(5年)	3.555%	▲1.3 bp	▲4.2 bp
タイ(5年)	2.366%	+0.0 bp	▲1.1 bp
インドネシア(5年)	6.752%	▲4.7 bp	▲14.8 bp
フィリピン(5年)	6.065%	▲6.0 bp	▲7.9 bp
インド(5年)	6.837%	▲0.8 bp	▲9.6 bp
ベトナム(5年)	2.110%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,539.93	▲0.1%	+0.3%
N225(日本)	38,468.63	+2.1%	▲2.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,815.39	▲1.0%	▲1.7%
ASX(オーストラリア)	4,542.18	▲0.0%	+1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,444.18	+0.5%	+0.2%
SSEC(中国)	2,891.85	+0.0%	▲2.4%
SENSEX(インド)	81,355.84	+0.0%	+1.1%
JKSE(インドネシア)	7,288.90	+0.0%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,624.56	+0.7%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,649.23	▲1.1%	▲0.9%
SETI(タイ)	1,307.21	+0.0%	▲0.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,246.60	+0.4%	▲0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	274.94	▲0.9%	▲2.9%
金	2,384.19	▲0.1%	▲0.5%
原油(WTI)	75.81	▲1.7%	▲5.0%
銅	8,893.67	▲1.1%	▲2.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	153.00	—	156.00
EUR/USD	1.0770	—	1.1050
AUD/USD	0.6505	—	0.6880
USD/SGD	1.3360	—	1.3530
USD/CNY	7.2560	—	7.2990
USD/INR	4.5400	—	4.7230
USD/THB	35.60	—	37.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.80	—	59.70
USD/VND	25,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は154円台前半でオープン。公示仲値決定のタイミングにかけてドル売り優勢の展開となり、仲値通過後には一時153円台前半まで下落。一服後は堅調な日本株の推移を横目に153円台前半まで反発。その後は動意に欠ける展開が続く、結局153円台前半で欧州市場に渡った。アジア通貨は小動き、週央にFOMC会合や日銀会合を控える中、様子見姿勢が強まり方向感に欠ける展開となった。

海外市場のドル円は欧州時間、米短期金利が上昇したことを受け153円台後半まで上昇して米州時間入り。米州時間入り後も、米金利が一段と上昇幅を拡大する動きに追随し、154円台前半まで上昇幅を拡大。しかしその後は伸び悩み、154円台を割り込み、153円台後半まで反落。米州時間午後は米財務省が第3四半期の借り入れ必要額見通しを従来の8470億ドルから7400億ドルに引き下げた事を受け、米金利の低下が上値を抑え、154円付近を中心とした推移が続きクローズした。

【金利】

米金利は長期で低下。欧州時間、短期を中心に金利上昇した一方、長期では財務省が第3四半期の借り入れ必要額の見通しを引き下げたことを受け長期を中心に金利が低下した。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。今週は日銀金融政策決定会合、FOMCを控え引き続き様子見ムードが継続。円ショートポジションの解消も一服感が感じられる中、ドル円は底堅く推移するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 6月 失業率 / 有効求人倍率
(アジア) 6月 シンガポール 失業率
(アジア) 6月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(欧州) 2Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 2Q 仏 GDP(速)
(欧州) 2Q 独 GDP(速)
(欧州) 2Q 西 GDP(速)
(欧州) 6月 スイス KOF先行指数
(欧州) 6月 仏 消費者支出
(欧州) 7月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確) / サービス業信頼感指数 / 鉱工業信頼感指数
(欧州) 7月 独 CPI(速)
(欧州) 7月 英 全国住宅価格
(欧州) 7月 西 CPI(速)
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 5月 FHFA住宅価格指数
(米国) 6月 JOLT求人
(米国) 7月 コンファレンス・ボード 消費者信頼感

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。